

団体名	特定非営利活動法人国際社会貢献センター						
事業名	外国人留学生の生活支援体制整備のための事業						
実施期間	2020年5月～2021年1月						
場 所	兵庫国際交流会館(HIH)						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	668	279	4	7	613		1,571名

<実施内容>

1. 日本語広場

初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級、上級の4クラスをそれぞれ週3回合計12講座を、午後6時より実施。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、5月8日から6月20日まで20日間オンラインで授業を行った。オンライン授業の延べ受講者数は227名だった。更に兵庫県の緊急事態宣言で夜間外出が制限されたことから、授業時間を1時間繰り上げ午後5時からとなった。受講者の中には一部交流館外の留学生や外国人も参加している。日本での就職を希望する学生が増加傾向にあり、日本語能力試験(JLPT)対応の講座も設けている他、ビジネスマナー、敬語の使い方など、就職にも役立つ事に配慮した講義内容になっている。

2. 日本文化教室

華道、書道、空手を毎月1回原則として土曜日午前10時から、研修室、多目的ホールにて実施。コロナ禍で5月は中止し、6月からの再開となった。華道については人気があり、従来の美術室では手狭となり、30名収容可能な研修室1を使用している。このため、三密の問題は全くなく参加者は安心して受講していた。従来の中国からの留学生以外に、アフリカ、東欧からの学生にも人気がある。8回受講すれば初等科の修了証が授与されるが、更に上を目指す学生は、交流館を出て就職してからも毎回参加している。空手は、一度は体験しようと女性にも人気があるが、3年前にアフリカから入館し直ぐに空手を始め、日本で就職したOBは毎回参加し指導的役割をしている。書道については、新規入居者が少ない事から参加者の数が伸び悩んでいるが、熱心なタイからの受講生は将来はタイで教えたいとの希望を持っている。

3. バザー

新型コロナウイルスの感染拡大もあり、三密回避の観点から中止となった。

<記録写真>



華道教室の風景
中央が張さん



空手教室の稽古風景
アフリカからの二人



日本語上級クラスの風景
左が呉さん

<参加者からのコメント>

張 雨琴さん(中国) Ms.Zhang Yuqin(China)

私は2019年の12月に中国から日本に参りました。交流館に住んでいることから去年5月からABICの日本語教室に参加しています。先生たちの丁寧な授業のおかげで日本語はゼロから少し話せるようになってます。そして日本語教室以外に6月からABICの生け花教室にも参加しています。生け花は私にとり初めての体験ですが、色々な表現の仕方があり毎回新しいことを体験し、日本の伝統的な芸術の魅力も少しずつ感じる事ができ大変楽しいです。中国に戻るまでに更に華道を勉強したいと思います。

呉 芝静さん(台湾) Ms.WU Jrjing(Taiwan)

2019年来日し日本語学校に通っています。日本の大学に進学するのを目指しており、日本語能力を向上させるため交流館のABICの日本語クラスも受講しています。当初は中級でしたが昨年からは上級にて受講しています。ABICの講師の皆様は大変熱心で親切でした。深く感謝しております。お陰様で日本語能力試験もN1合格しました。更にこの度滋賀県の大学を受験し合格しました。これからも大好きな日本で学べることになり嬉しく思います。